

流行の心理

珍らしい柄の着物がはやりますと似あつても似あはなくとも我もわれもと着たがりります。誰かゞキャラメルのような調法な御菓子を工夫いたしますと遠足などにはキャラメルでなければならぬ様に皆様は御持参になります。言葉にいたしましたとしてもハイカラ。自覚、とらはれる、さめる、などは昔ははやり言葉でございました。學問藝術の方面でもオイケンについての研究が下火になつたかと思へばベルグソンが歓迎せられ或はロダンの思想がもてはやされるやうにすべて流行といふのは一つの社會現象として精神的物質兩方面に常に存在する事實でございますがさてこの現象は如何なる心理に基くものでございませうか、どうして人々は我先にと時風を追うてやまぬのでせう一寸考へてみたいと存じます。

まづ其流行の基を養ひ且その擴まる海ともなる社會に就て申しますと社會には當時の社會の憧憬を觀念にあらはす優秀なる精神能力を有する人々から組織せられてゐる社會意識の流がございます。この社會意識の本を作つてゐる個人意識には觀念中樞運動と感覺中樞運動とがございまして、誰もこの兩方面の作用は有してをりますが、先に申しあげました優者は殊に觀念中樞運動即自發性に富み何か新奇なものを作り又は元來のものに變化を與へてこれを用ゐやうと致します。一方これら少數の優者を周旋してゐる大多數の平凡の人々は最感覺中樞運動即感受性の方が多く優者の行動はこゝに強き暗示としてうけいれられつゞいて模倣とし

次 目

□ 流行の心理		文科三年
□ 報告		文科二部四年
□ 都 櫻		堀尾トメ
□ 和 歌	文二	L. S.
□ 同	文四	月 草
□ 故粒木つれ子の君を悼む	文三	中村たま
□ 同和歌		文科三年
□ 文科會記事		
□ 會計報告		